

沖縄カトリック中学高等学校 学校通信  <h1 style="text-align: center;">野ばら</h1> 1月号	発行 沖縄カトリック中学高等学校 〒901-2215 宜野湾市真栄原3-16-1 TEL 098-897-3300 <a href="http://www.catholic-okinawa.ed.jp/">http://www.catholic-okinawa.ed.jp/</a> 2013年1月7日
--	---



## 新しい歌を神に向かって歌え

### 校長 夏見隆晴

12月の定期試験が終わると、生徒たちは休む暇もなくクリスマス会の準備に追われていました。この期間にも、普段通り一方では各教科から提出物を要求されるのですから、生徒たちも大変です。本校の生徒たちにとって、師走は文字通り走り回らなければならないのです。もちろん教師たちも、生徒と共に一緒になって走ってくれております。聖誕劇の脚本も毎年書きかえられて、その年その年の担当学年の特色が出ており、涙腺の弱くなっているわたしなど涙を隠すのに苦労します。

クリスマス・イエス・キリストの誕生。出産とはいったいどの時代にも慌ただしいものです。その慌ただしさを、身を持って体験できるということは、クリスマスの意味をより深く理解できるための計らいと考えればよいのです。神の御子をこの世に迎えるという大事業を、そんなに簡単に成し遂げられるはずがありません。マリア様もいろいろな苦しみを耐え忍びながらも、心静かにただひたすら神様を信じ、イエス・キリストが人間の歴史の中に来られるという、とてつもない御業に協力なされたのです。聖母マリアの生き方は、わたしたちの人生にとって倣うべき模範です。

一方、この世に生を受けた子ども達も、年ごとに年齢を重ね成長してまいります。中学生や高校生ともなると、親に育ててもらっていることも忘れたかのように、自分を主張し始めます。そして、時に、自分だけで世界全体を理解できるかのように振る舞うことさえあります。世界は自分のために廻っているかのような振る舞いに及ぶのも、この年頃の者の特徴です。それでも救いは、友人という存在に重きをおき、時には友人そのものが自分よりも大切に扱われるということです。友人という他者の存在に目が向くということは、世界が神、神と呼ばないまでも、何か偉大なものによって成っているということに、気が付き始めたことの証拠だからです。

今、卒業を間近にした高校3年生はもちろんのこと、2年生の生徒たちも自分の将来を真剣に考えるようになってきました。何かを成し遂げたい、けれども自分の存在はあまりに小さい、と心のどこかで考えているはず。そんなお子さん達に、親としてのエールを送ってあげてください。「あなたは、神様からいただいた大きなかけがえの無い宝物だよ。」と。そして、「今はこの子を神様あなたにお返しします」と祈ることができれば、神様は大きな報いをお与えくださるはず。そして、クリスマスからお正月にかけての時は、最高の祈りの時です。カトリック教会は「新しい歌を神に歌え。世界よ、神に向かって喜び歌え。神の名をたたえて歌い、日ごとに救いを告げ知らせよ」と祈ります。

そして、クリスマスからお正月にかけての時は、最高の祈りの時です。カトリック教会は「新しい歌を神に歌え。世界よ、神に向かって喜び歌え。神の名をたたえて歌い、日ごとに救いを告げ知らせよ」と祈ります。

クリスマスと新年のお慶びを申し上げます。



数学科 金城 洋樹

## 神との対話

今年度の夏、学園の研修会の校長講話の中で“神との対話”というお話がありました。生徒の皆さんも、宗教の時間などでその言葉を何度か耳にしたことはあるはず。質問です。皆さんは神との対話をしていますか？神の声に真剣に耳を傾けたことはありますか？神との対話すると言うことがどういうことか知っていますか？

私はこの学校に赴任し12年になります。私は信者ではありませんがこの学校でカトリックの理念を12年学びました。これまでこの言葉を何十回と聞いてきたでしょう。でも、私自身“神との対話”について聞かれると、正直全然分かりませんでした。そこで一生懸命考えてみました。

最初に感じたことは、ある本の一節で、苦難や困難の際、神は私をお助けにならなかったと言う話でした。次に自分自身の祈りについて考えてみました。よく生徒にも、「ただ祈りの言葉を発するのではなく、何かのため、他者のため、時には自分のためでもよいから必ず具体的なイメージを持ちなさい。そうすれば日々の祈りが実りあるものになるはずだ」といいます。心をこめて祈ることが重要だと思っていました。ただ、それが神との対話かと聞かれるととにかく違う気がします。“最初の神は何もしてくれなかった”の話と一緒にこちらからの一方的なお願いにしかかかっていないことに気が付きました。言いかえると、神にこちらの我が儘を一方的に押しつけてしまっているといえるのではないのでしょうか？

私はいまだにまだ分かりません。ただ、最近思うことは、私の好きな言葉に“神は乗り越えられない試練は決してお与えにはならない”と言うのがあります。もしかしたらこの考え方にヒントがあるのではないかと言うことです。この答はもしかしたら人それぞれ違うものかも知れません。私自身の答を今後も探していこうと思います。

最後に、皆さんもこのチャンスに考えてみてはいかがでしょうか？一つ確実に言えることは、カトリックの学校に通う、携わるということは“神との対話”について考える一つのチャンスです。人生の成功者のほとんどがチャンスを見逃さず、「モノ」にする者です。また、うまくいかなかった者のほとんどがチャンスに気づかず見逃す者です。更に言えば、今は何でもないことが後々大切であったと言うことは多々あります。だから見逃すのです。





# 受賞おめでとうございます。

☆法務省及び全国人権擁護委員会連合会主催  
第32回全国中学生人権作文コンテスト沖縄県大会 優秀賞

中学3年生 宮里 琉真君

☆沖縄県学校図書館協議会・琉球新報共催  
第49回全沖縄青少年読書感想文 感想画コンクール  
読書感想文 課題読書の部 優良賞

中学2年生 上江洲 まりのさん

☆沖縄県理科教育協会・小学校理科教育研究会・理科教育研究会主催  
第52回沖縄県児童・生徒科学作品展 優秀賞

中学3年生 桂 美貴さん

☆沖縄タイムス社・沖縄印刷団地共同組合主催  
第7回文字・活字文化大賞 青少年意見文・小論文コンクール入賞

高校2年生 稲本 知恵さん

☆中部学校図書館協議会・琉球新報共催  
第49回全沖縄青少年読書感想文 感想画コンクール 優秀賞

中学2年生 上原 凜さん

☆中部学校図書館協議会・琉球新報共催  
第49回全沖縄青少年読書感想文 感想画コンクール 優秀賞

中学2年生 上江洲 まりのさん



\*~\*~\*~\* 前期入試について \*~\*~\*~\*

中学校及び高等学校の前期入試を下記の日程で実施致します。  
お知り合いの方に広くご紹介頂ければ幸いです。

出願期間 1月9日水曜日～12日土曜日  
受付時間 午前9時～午後5時まで  
※土曜日正午まで  
試験日 1月19日土曜日

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

## 1月の予定



日・曜日	行事計画
7日(月)	授業開始 08:05生徒集会
9日(水)	一般入試出願期間～12日(土) ※完全下校16:20
11日(金)	PUP⑧(LHR) Kパック4～6
12日(土)	Kパック6
19日(土)	一般入試 センター試験
20日(日)	センター試験
21日(月)	高3自己採点 個人面談 総合学力③5,4
22日(火)	高校2年生修学旅行 ~26日(土)
23日(水)	小3・中2交流会
26日(土)	英検3h 1～4年生
30日(水)	完全下校16:20